

第1回広域まちづくりモデル調査検討会での意見等について

日 時：平成29年2月7日（火）10：00～11：00
場 所：富山県庁4階大会議室

○ 検討会の進め方について

- ・イメージが湧きにくいので、現場を見て議論してはどうか。
- ・利用のイメージができる案を示してもらえれば、もっと具体的に議論ができると思う。
- ・新駅を利用される地域の方や、近くにお住いの方が、どういうことを新駅に期待しているか、意見や考え方を聞くような場があるとよい。
- ・駅を利用される方にとって周辺に何があればいいのか、あるいは地域の人たちにとってどんな駅中心の地域になればいいのか、地域をじっくり見ながら考えていく必要がある。
- ・東富山駅より東側の滑川、魚津の人や、西高岡駅より西側の福岡、小矢部の人が、もし新駅ができたらどういう使い方をするか、ニーズを把握できるとよい。

○ 新駅設置に関する各種統計データについて

- ・新駅設置の可能性調査として、どういった人がどのくらいの範囲から新駅を利用するか調査していると思うので、調査結果を見せてもらいたい。
- ・新幹線開業前後の、人口の変動、社会的な増減や、東京から帰って来た人の増減など、データがあれば提示して欲しい。
- ・あいの風とやま鉄道をどういった方が利用されているのか、どれぐらいの利用があるのか、現時点の利用状況がわかるデータを見せてもらいたい。
- ・お年寄り免許を返納したいが、生活の交通手段がないことから返納できない。

○ 各モデル地区に対する意見について

モデル地区①（富山）、②（高岡）共通

- ・あいの風とやま鉄道は、どちらかといえば観光よりも生活交通であり、新駅は毎日利用するような人たちが中心の駅になる。昔は駅は賑わいの中心であったので、もう一度コミュニティを復活させるような仕掛けができれば、駅中心、公共交通を中心とした集約型のコンパクトシティをつくることにも寄与できると思う。
- ・新駅からのバス等の交通手段があれば、お年寄りにもよいと思う。駅周辺のモデルにお年寄りのニーズを反映すればどうか。
- ・日常の交通手段としてのあいの風とやま鉄道を核としたまちづくりを考えると、利用者が使いやすいまちづくりとして住居や商業施設が考えられる。

モデル地区①（富山）

- ・新駅は、富山市のコンパクトシティの考え方に沿うものとなり、新幹線の二次交通としてのあいの風とやま鉄道線の機能強化の面でも期待されている。
- ・どのように具現化されていくのかという部分が、他の地区に比べ弱いため、第2回で、方向性のイメージを共有できるような検討を進めていただきたい。
- ・国道8号が整備中であり、アクセスが強化されるため、国道8号と新駅とのアクセスをどのように考えていくか検討をする必要がある。

モデル地区②（高岡）

- ・木津地区（新駅の東側）と羽広・和田地区（新駅の西側）は線路で遮断され、行き来がない。東側にはスーパーマーケットなどが立地しているが、西側にはないため、ショッピングゾーンを核とした住宅系の土地利用も考えられる。
- ・あいの風とやま鉄道を利用して県内外のたくさんの方に来てもらうという発想で考えたら、テーマパークみたいな大きなショッピングマーケットも1つの方法だと思う。（皆さんの意見、地元の意見をよく聞いて、進めていけばよいと考えている。）
- ・住宅密集地であり、企業等が立地しにくい場所だが、商業施設関係は十分可能と考える。基本的には新駅は、住宅街の中の駅になると感じる。
- ・新駅から1.5kmのところに、国道8号に隣接して高岡ICがある。新駅にもアクセスする道路（高岡環状線）もある。少し広域的に見て、高岡IC横の道の駅の拡幅についても考えていただきたい。

モデル地区③（射水）

- ・小杉IC周辺は、非常に道路のアクセスがよいため、物流の拠点となる倉庫のような業種、もしくは運送関係のような道路を利用した業種がよいと思われる。
- ・コストコが開業して交通渋滞も起きている。開発される場合、商業施設を整備される場合には、もともと住んでいる方の交通手段や、道路整備も含めてした方がよいと思う。
- ・小杉インターパークは、立地的には物流の企業等が多いということはとてもよいことであり、適しているのだろうと思う。
- ・企業立地による転入者の方も結構いるのではないかと思う。また、周辺には大きな公園や、旧小杉町のいろいろな施設もあり、新たな人たちの生活が十分満たされるような施設がある。黒部市にあるパッシブタウンのような、新たなエネルギーを使ったモデル住宅的な住宅団地などを造って、転入者の方を中心に住んでもらうということもよいのではないかと思う。